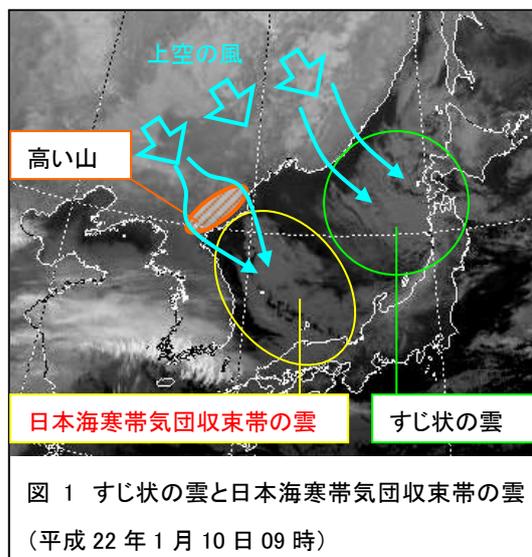


# 冬の日本海の常連さん

今やテレビの天気予報ではおなじみとなった気象衛星の雲写真。「冬型の気圧配置」と聞いて「日本海のすじ状の雲」を連想された気象ツウのみなさん、あの常連さんのことはご存知でしょうか・・・。

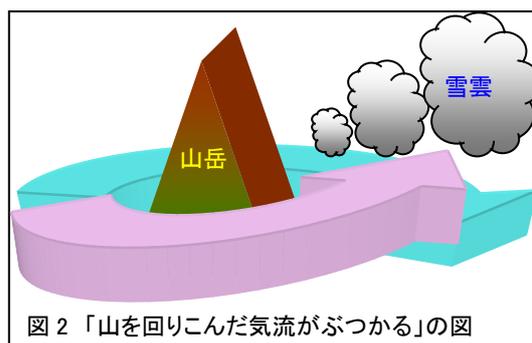
冬の日本海には、すじ状の雲の他にかなり目立つ常連さんがいらっしゃいます。図1を見ると、中国大陸の沿岸から日本海を横断して北陸地方に広がっている雲がご覧いただけだと思います。気象の業界では有名な「日本海寒帯気団収束帯の雲（にほんかいかんたいきだんしゅうそくたい）」でございます。この常連さんについて、ちょっとご紹介いたしましょう。



「日本海寒帯気団収束帯の雲」は、すじ状の雲と同じく、日本海を大陸からの寒帯気団が吹き渡るうちに出来上がっていきます。見た目が「すじ状」にならないのは「収束（しゅうそく）」という言葉がポイントなのですが、この言葉の説明はあとにして、とにかく呼び名が長すぎるので、この先は、波状に見えるこの雲を便宜的に「波平さん」と呼ばさせていただきます。

すじ状の雲は、大陸から吹き出した季節風に沿ってすじ状になるのに対し、「波平さん」がすじ状にならないのは「高い山を回りこんだ気流」が乱れているためです。

図1のように、朝鮮半島北部には高い山岳地帯があり、白頭山（はくとうさん）などは標高2700メートルを超える高さです。



そのため、図2のように、山岳地帯の周辺を流れる季節風は山によっていったん大きく2つに分かれ、山の風下で再びぶつかり合うように合流します。気流が合流することを気象の業界では「収束（しゅうそく）」と言い、合流した空気がぶつかり合って上昇気流が発生しやすいエリアとして注目します。

「波平さん」の西端がいつも朝鮮半島北部のあたりから始まっているように見えるのは「そこに山があるから」で、常連さんの指定席なのでございます。

上昇気流を伴った「波平さん」は、暖かい日本海の海面からたっぷりと水蒸気を吸い上げて、さらに雪雲が発達しやすくなります。爛酒をたっぷりいただいて気分上々と言ったところですが、その影響を受ける側は大変です。例えば北陸地方は、北西の季節風が吹く間「波平さん」が居座って雪が降り続くことがあります。

さらに「波平さん」はその場の雰囲気によってエキサイトしやすい性格です。例えば、上空に気圧の谷が進んでくると、「波平さん」の上昇気流が強まって低気圧が発生し、たっぷり含んだ水蒸気を大雪にして降らせたり、強い上昇気流で雷まで発生します。突如としてカミナリオヤジと化し大暴れする「波平さん」。気象の業界で有名になるのも当然でございます。



では、やられるのはいつも北陸地方かと言えば、そうとも限りません。山陰地方や、東北地方もその影響を受けることがあります。それは、よく言う「風向きが変わった」場合。季節風が北西から西の風に変われば、東北地方が「波平さん」のターゲットになりますし、「波平さん」

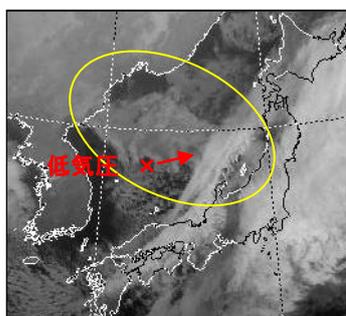


図 3-1 日本海寒帯気団収束帯で低気圧が発生  
(平成 22 年 1 月 12 日 15 時)

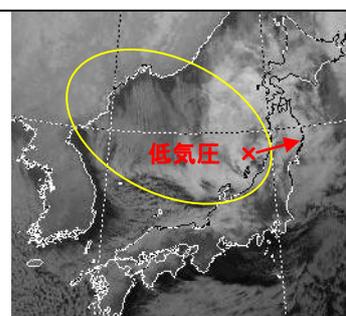


図 3-2 低気圧の影響で青森県が大雪となっていた頃  
(平成 22 年 1 月 13 日 09 時)

から発生した低気圧がわが青森県の近くに進んでくることだってあります。からまれたら災難ですね。実は、この冬、いつもとは違う地域が大雪となった原因の一つとして、「波平さん」がたびたび影響していたのでございます。

例えば図 3 は平成 22 年 1 月 12 日から 13 日の「波平さん」の姿です。上空の気圧の谷と結びついて、日本海の「波平さん」から発生した小さな低気圧が、13 日の朝には山形県付近、昼には岩手県南部の沿岸に進みました。その影響で、13 日の降雪量は八戸 29 センチ、三戸 23 センチ、十和田 31 センチ、弘前 32 センチの大雪となりました（青森は 12 センチ）。これらの地域は、通常の冬型の気圧配置では比較的雪の少ない所ですが、低気圧の影響でこんなに降ってしまいました。「波平さん」恐るべしでございます。

冬はまだ続きます。気象衛星の画像で「波平さん」をじっくり観察してみたいかがでしょうか。气象台も「波平さん」、いや、「日本海寒帯気団収束帯の雲」のご機嫌を監視し、みなさんに予報でお知らせしますので。

(この原稿の作成 技術課 安ヶ平)



国土交通省

国土交通省 気象庁 青森地方気象台  
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号



気象庁

気象庁ホームページ: <http://www.jma.go.jp>

青森地方気象台ホームページ: <http://www.jma-net.go.jp/aomori/>